

本日のおもちかえり  
2018年10月28日

1) あなたにはお気に入りの陶器がありますか。なぜ、それがお気に入りなのですか。あなたはロクロを回して陶器を作ったことがありますか。陶器作りを通して、何か学んだことがありましたか。

2) イザヤ書64章8節、エレミヤ18章1節－6節を読みましょう。なぜ神様はご自身を陶器師、私達を陶器として譬を語っているのでしょうか。この譬が明らかにすることは何ですか。

3) 聖書は「**初めに神は天と地とを創造された**」(創世記1章1節)という言葉と共にその物語を始めています。なぜこの前提は大切なのですか。

4) 他人事ではなく、詩篇139篇13節－17節に書かれていることは自分の事なのだということを知る時にあなたはどんな思いを持ちますか。

5) 私達の生涯の最後に残るものは何ですか。永遠に保持し得るものは何ですか。

6) 陶器師はなぜ新しく掘り出された粘土を少なくとも一年は風雨にさらしながら寝かせるのでしょうか。このことを粘土である私達に置き換えると、どんなことを意味しますか。

7) 寝かせた粘土を練ることから陶器師は具体的な仕事に取りかかります。「練る」という言葉から、このことを粘土である私達に置き換えると、どんなことを意味しますか。

8) 陶器師が粘土の中にある不純物を砕いて、それをなめらかな粘土にしようとするのはなぜですか。このことを粘土である私達に置き換えると、どんなことを意味しますか(イザヤ57章15節)。

9) ロクロの上で私達が作られるということは何を意味しますか。

10) 手で造られた作品には全て個性があります。時にそれはいびつな形であったり、欠け損じているものであったりします。このことを陶器である私達に置き換えると、どんなことを意味しますか(コリント第二の手紙12章9節)